

広報第67号



SUNSHINE-VILLA

第2サンシャインビラ

第67号
社会福祉法人会
福陽
第2サンシャインビラ
東京都福生市福生
3244-10
TEL 042-553-3701
編集 広報委員会

本年もどうぞ宜しく
お願い申し上げます



これからも大切にしたい事

いる娘や息子も含め家族のチームワークは健在です。



施設長・センター長

佐々木 和仁

新年、明けましておめでとうございます。本年も昨年同様よろしくお願ひ申し上げます。昨年はコロナの状況で心配されましたが、東京オリンピック・パラリンピックが開催され、多くの競技のアスリート達から勇気と感動をもらいました。私自身は学生の頃にバーチャルをやっていたので、メダルには届かなかつたものの男子バレーの活躍と躍動に一喜一憂していました。次のパリオリンピックに期待をしています。

施設状況についても、昨年前半は感染症の関係で多くの方にご心配をお掛けしましたが、現状は利用者の皆さん的生活や職員の仕事も安定しており、活気のある状況が戻りました。

さて、私事ではありますが今年は節目の年になります。プライベートでは結婚三周年を迎えます。「共に白髪の生えるまで」とは言いますが、まさに現実となりました。それでも社会人として頑張つて

又、仕事面においても福陽会に入職してから三十五年の年月が流れます。入職した時とは全くと言って良い程見える景色が違い部分的だったものがより鮮明な全体像に変わっています。それもわが子のように育ててくれた理事長や統括施設長、私を支え続けてくれた多くの方々のおかげだと思います。

これまでもそれを大切にしてきたと思っていますが、これからも大切にしたい事は「笑顔」と「感謝」だと思っています。自分に笑顔が無ければ相手が笑顔になる事は無いと感じています。自分に感謝の気持ちが無ければ人間関係の構築や信頼が生まれる事は無いと思っています。これからも利用者やご家族の方々、施設職員と家族の沢山の笑顔を見ていただきたいからこそ、笑顔で接する事を忘れないで行きたいと思います。感謝の気持ちも同様に、育ててくれた方、何かを教えてくれた方、支えてくれている方、一生懸命頑張ってくれている方々には感謝の気持ちを忘れる事なく、自分自身の努力も合わせ人間として社会人としての成長に繋げて行きたいと考えております。

本年も皆様方からのご指導、ご鞭撻をお願い申し上げますと共に、この場をお借りして医療と介護の最前線で今日も頑張っている方々に感謝の言葉を送りたいと思います。



2F 島田(相)・4F 福島(相)・佐々木施設長・3F 井上(相)

令和四年 元旦



敬老会 令和3年 9月12日



田村統括施設長

加藤 福生市長

コロナ禍の生活



二階 介護職員

斎藤 広文

一昨年の春先から新型コロナウイルス感染症が蔓延し、外出やご家族との面会が行えない中、万全な感染対策を取りつつ少しでも利用者様、職員が笑顔で生活出来るようになればと考え、同フロアの職員に協力を仰ぎ、和太鼓演技やウクレレ演奏、お皿回し、BOXジャグリング、南京玉すだれ、などを披露して頂きました。シヤトレーゼにて色鮮やかなケーキをいろいろ取り揃え、目でも楽しまれ、食べても美味しく皆様とても満足なご様子で笑顔が溢れ、職員も元気を頂きました。冬には、毎年恒例になっていたミカン狩りも残念ながらなくなり、フロアの中にはミカンがなつている枝を持ち込み、ミカン狩りを楽しむ事が出来ました。

新型コロナウイルス感染の終息が見えない中、引き続き感染対策を十分行い、少しでも活気があり元気な生活を送つて頂けるよう今後も企画して行きたいと思います。



令和三年九月よりお世話になつております。武藤孝子です。

私が特別養護老人ホームで看護業務に従事しようと思ったきっかけは、病院や治療が主になつてゐる場所での看護よりも、施設理念にもある『利用者様の心身ともに健康な生活を保持する』という、その人がその人らしく自分の人生を生きて行かれる『生を活かす看護』がしたかったからです。

利用者様にはひとり一人、歩まれてきた人生があり、その経験や技術、知識をいつまでも輝かせていくことが出来るよう支え、寄り添う看護を行つていきたいと思つています。

これからも宜しくお願ひ致します。

施設理念に共感

医務室 看護師



武藤 孝子





「願い」

三階 介護リーダー
加藤 幸子

少しずつ日常生活が戻りつつあり、長い時間大切なご家族様との面会が出来ず、寂しい思いをされていた日が徐々に解除されようとしていましたが、このところの感染者数の増加で不安はぬぐえません。

先日、ある利用者様のご家族様から『とても焦りを感じます。このまま会えずに別れてしまうのでは…』とおっしゃっておられました。ご家族様の想いをあらためて実感しました。

大切な人と少しでも長く過ごせるように、一日でも早く日常生活が戻る事を願っています。スタッフ一同、ご家族様のご来園を心よりお待ちしております。



文化祭 10月19日





希望

四階 介護職員

原島 久美子

早いもので四階フロアに異動して二年が経ちました。様々な利用者様との関わりの中で、今年四月に入所されたH様は、脳梗塞と失語症があり胃瘻を増設されました。

当初は表情も乏しく、ふさぎがちなご

様子でした。前向きに明るく過ごして頂きたいとの思いで、気持ちに寄り添い、食事やリハビリを工夫しながら取り組みました。旅行やゴルフ、オシャレが大好きなH様でしたので、まず、口紅やマニユキアをしてオシャレを楽しんで頂きました。施設の環境に慣れてくると食欲も出てきて、胃瘻が外れるまでに回復されたのです。もちろん、笑顔が増えたのは言うまでもありません。

私たちにとって、利用者様が生き生きと生活される事は何よりも嬉しい事です。これからも利用者様と共に、笑顔で元気には頑張つていきたいと思います。本年もよろしくお願い致します。



仕事への思い



四階 介護職員

安斎 翔太

『おまえが介護の仕事かよ』と、大学時代の同期に言われながら選んだこの福陽会に入職し、九ヶ月が経ちました。

介護の仕事は初めてで、右も左も分からなかつた僕に厳しくも温かく、いつも見守つてくださった先輩職員の方々。そして、未熟な僕を気遣つて声を掛けて応援して下さった利用者の皆様。初めて仕事に就いた頃のことは今でも鮮明に覚えています。介護の仕事をする上での僕の原点になっています。

これからも利用者様の笑顔を引き出せる、介護職員に成長できるよう頑張つて行きたいと思います。宜しくお願い致します。



デイサービスの職員として

看護師
稻見 夏美

デイサービス

特養からデイサービスに異動して仕事や仕組みにも大分慣れだ。デイサービスのスタッフは、芸達者が多く歌や踊りが上手、折り紙が上手、三味線が弾ける、四季のアイデアが豊富など・・・。その点私は、特にこれといったものは無い。

今は、バトミントンをやつているが、年なのか、前後左右の動きについていけないし、シャトルも思うよう取れない。桃田選手のようにジャンプしていると思っていたが、若い人に「えつ？ジャンプだつたんだ：」と言われ：トホホ。

でも、でも、こんな私ですが、クリスマス会に向けハンドベルの練習を行い、無事、素晴らしい音色の演奏を皆様に楽しんで頂く事ができました。時間があつたら声を掛け下さい。演奏頑張ります。

文化祭展示作品



美味しい 焼きいも



職員も頑張る！





日々勉強

小野 篤
厨房スタッフ

当施設に入職しまして、一年四ヶ月が経ちました。入職前キッチンカーの開業準備をしていた矢先、新型コロナウイルス感染症の影響で断念せざるを得ない状況となり、当施設で働くこととなりました。

厨房は日々勉強です。献立も郷土料理など新しいメニューを取り入れ、月々では、誕生日会のお祝膳、希食などを行っています。一月にはお好み焼きをお出しする予定です。今後も新しい試みをしていけると思っています。

利用者様にとつて、食事が一日の楽しみの一つとなつて頂けるために、安心で安全な美味しい食事を毎日提供出来るよう、厨房職員一丸となつて、よりよい物をと試行錯誤しています。

今後とも日々精進しながら努めています。



衣類販売



内定式 10月28日



介護福祉士受験対策講座
(12/11・18)



期日前投票

「元気～？」「元気～！」
これからもご愛読
宜しくお願い致します。
(室賀)



新年を祝う気持ちも何かそぞろになる。感染拡大もここまでくると、最後は神頼みというのが人間の心情というものではないだろうか。今年はだるま市が開催された。昔からだるまは、何度も倒されても起き上がるなど、祈願や必勝を期するときの縁起物、どんな願いも引き受けてくれる有難い物と言われている。今年はだるまの力を借りて、落ち着いた日常が戻るよう願いたい。

去年の九月よりホームページ上に、利用者様の施設での様子などを「with笑顔」と題して掲載しております。ぜひご覧ください。

編集後記

新年を祝う気持ちも何かそぞろになる。

**社会福祉法人
福陽会**
特別養護老人ホーム
第2サンシャインビラ
〒197-0011
東京都福生市福生
3244-10
TEL 042-553-3701
FAX 042-553-3715
<http://www.fukuyokai.or.jp>